

| 教科名 | 科目名 | 単位数 | 授業形態 | 系統 | 履修年次 |
|-----|------|-----|------|----|------|
| 家庭 | 家庭基礎 | 2 | 一斉 | 共通 | 1 |

| | |
|----------|---|
| 教科書（発行所） | 新家庭基礎 気づく力 築く未来（実教出版） |
| 教科書以外の教材 | 1 LIFE おとなガイドデジタル+（教育図書） 2 新家庭基礎 気づく力 築く未来（実教出版） |

| 目 標 | <p>1 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>2 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。</p> <p>3 様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。</p> | | | |
|----------------------|---|---|--|--------|
| | 学期 | 学習事項 | 学習内容 | 考查等 |
| 学習計画 | 1 学期 | 家庭科を学ぶにあたって | <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭基礎」を学ぶにあたって、学習の意義や内容、情報収集、レポートの書き方など学習の方法、評価の方法を理解する。 ・生涯発達の視点に立って、乳児期から高齢期までのライフステージの特徴と課題を見通し、その課題を他者と関わりながら達成し、生まれてから死ぬまで発達し続けていくという考え方 ・子どもはこれからの社会を築いていくという視点から、子どもを生み育てることの意義や地域の一員として子どもの成長に関わることの意味 ・生涯を見通して高齢期を捉える ・社会的制度、社会福祉の基本的な理念、ともに支え合って生きる社会の考え方 ・生活をあらためて見直し、解決することを検討する。 ・具体的な解決方法を探り、実際に改善する。 | 期末考查 |
| | | 第1章 自分らしい生き方と家族 | | |
| | | 第2章 子どもとかかわる | | |
| | | 第3章 高齢者とかかわる | | |
| | 2 学期 | 第4章 社会とかかわる ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・日常の食生活を振り返り、健康や生活習慣に直結する食事について学ぶ ・食事の役割を認識し、食が心身を育むうえでも大切なものであること ・調理の基本的な考え方や方法 ・衣生活の留意点と環境に負荷を与えない行動を考え、実践する | 各単元テスト |
| | | 第5章 食生活をつくる | | |
| 3 学期 | 第6章 衣生活をつくる | <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな生活条件を持った人びとが、安心して住める環境を考える ・個人や家族の生活目標を実現するための、経済計画と正確な知識や情報を収集し、主体的に判断し行動する ・環境負荷の少ない生活をめざして、生活意識や生活様式を見直す ・家庭基礎の学習を生かして、自分らしい生き方を設計する。 | 各単元テスト | |
| | 第7章 住生活をつくる | | | |
| 第8章 消費行動を考える | 生活設計 | | | |
| 授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等 | <p>家庭基礎では、自分や家族、地域の生活を見つめ直し、より良い生き方を考えていきます。正解を探すだけでなく、自分の感じ方や考えを大切にしながら学ぶことが重要です。授業や実習では、身近な経験と結びつけて考えたり、話し合いやふりかえりを通して自分の考えを深めてください。</p> <p>日常の生活の中で「なぜだろう」「こうしたい」と感じたことを授業に持ち込み、自分の生活に役立つ学びにつなげていきましょう。</p> | | | |
| 評価の観点 | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体的に学習に取り組む態度 | |
| | 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と、それらに係る技能を身に付けている。 | 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。 | 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。 | |
| 評価の方法 | <p>授業で扱った内容の理解度、ワークシートやレポートの内容、実習や話し合いでの取り組み、ふりかえりの記述などをもとに評価する。家族・衣食住・消費・福祉などの学習を、自分の生活や将来と結びつけて考えられているか、課題に対して主体的に取り組む、考えを言語化できているかを重視する。</p> | | | |